

◎5月19日（木）13：30～市役所東館221会議室において

質疑応答（保護者出席者6名）

（1）令和5年度に転園する場合、希望園への入園調整はしてくれるのですか。

（市）令和6年度の転園に対する入園調整を前提としていますので、令和5年度については、通常の転園受付となります。

（2）令和6年度の転園時には、必ず希望の園に入れるのですか。

（市）事前に転園希望先調査をさせていただき、偏ってしまうようであれば園と交渉し、できる限り希望先の園に入れるように準備していく予定です。

（3）呉郷保育所は地元であり、近いということからも子どもが預けやすく、安心してきていました。地域の便利な保育所を閉所するから子どもの数が減っていくという考えはないのですか。

（市）この度の閉所は、本市がおかれている状況を基に、今後を見据えた幼保再編構想計画に沿った判断でございます。苦渋の決断であったことをご理解いただきたいと思います。

（4）呉郷保育所を閉所することで、他園の定員を増やすことは考えてないのですか。

（市）民間事業者が運営している施設については、民間事業者が定員を決定し、それを市も受け入れています。定員の増を考えた場合、一番の課題となる保育士の確保については、どの園も苦慮しております。また様々な事情がそれぞれの園にあり、令和5年度に定員を増やすことが、すぐにはできないというのが実情になっています。

（5）公立園を希望して、希望が通らずに私立園に行くようになった場合、制服代は自己負担となるのでしょうか。

（市）今までも保育所・幼稚園を一体化し、認定こども園を整備してきた中で、最後の1年だけ制服がある園に転園した場合に、園の方に事情を伝え、制服の着用を選択できるように、また新品ではありませんがストックしている制服の貸出に協力していただいた経緯もあります。事前にご相談いただければ、同様の対応が図れるよう努めてまいります。

（6）資料の中にある広域とは何ですか、遠くから来ているということですか。

（市）吉野川市外から来られている方のことです。

（7）呉郷の全員が一つの園への転園を希望した場合、何を基準に選定していくのですか。

（市）この度は閉所に伴う転園であり、通常とは事情が異なるため、事情を加味した加点方式ではなく、希望先の園の継続児扱いとし、ご希望に添えるよう調整を進めていきたいと考えています。

(8) 違う園に行った場合、慣らし期間は設けずに、最初からフルで預かってもらえますか。

(市) 転園なので、通う施設は異なっても園生活に慣れているということから、保護者の希望に添えるよう、園に協力を求めています。

(9) 待機になったら仕事に行けなくなるので困るのですが。

(市) 待機にはならないように努めます。また、できる限り第1希望の園に入れるように希望園にも協力を求めています。

(10) 令和5年度に、他園を第1希望にして転園できなかったとしても、呉郷保育所に戻れるのでしょうか。

(市) そうです。

(11) 来年度、呉郷保育所は、今までと同様に入園募集するのですか。

(市) 今までと同様に募集いたしますが、閉園により、1年で転園となることを募集要項の中に書き足すなど、説明にも努めてまいります。

(12) 転園先希望調査の結果についてはどうなりますか。

(市) 転園先希望調査結果は、年齢別にどの園に何名希望しているかという内容を、お名前を伏せたうえで書面にてお知らせいたします。なお、転園先希望調査によって希望園が決定するものではございません。